

ヨーロッパで最もパワフル… 8方向に放つ光は60キロ先まで届く

クレアッシュ灯台 (フランス)

絶対また行きたい。かなうものなら移住したい。それくらい灯台ファンを引きつける島がある。

フランス本土最西部に位置するウェサン島。東西8キロ、南北3キロの小さな島は、暗礁に囲まれ、早い海流に包まれている。周囲には難破した多くの船が沈み「船の墓場」と呼ばれる場所だが、だからこそ昔から灯台が必要とされてきた。1695年に建てられたフランス最古級のステイップ灯台、映画『灯台守の恋』(2004年)で舞台となった海上にそびえ建つジュメン灯台など、歴史遺産に指定されている灯台が取り囲んでいる。

そんな島で灯台マニア(レンズ萌え)が最も興奮するのはクレアッシュ灯台だ。1863年に建てられた高さ54メートルの石造りの灯台で、上下2段

に重なった一等レンズで8方向に光を放つ。その光は60キロ先まで届き、ヨーロッパで最もパワフルだと言われている。観光客は登ることはできないが、旧機械室がミュージアムになっていて、世界有数のレンズコレクションを見学できる。中でも世界で初めて実用されたフレネルレンズは必見だ。

島にはレンタカーがなく、旅行者の移動は自転車がメインとなる。小さな港から教会のある可愛らしい町を抜け、連なる丘を走っていく。点在する民家には、色とりどりの花が植えられている。しばらくすると遠方に灯台の縞模様が見えてきた！ 私はこの瞬間の風景をまぶたに再生するたび、ときめかずにはいられない。

(おわり)

※『世界の灯台 どうだい？』は今回で終了します。9月からは国内の灯台をテーマにした新シリーズを連載します。ご期待ください。

